

添付資料(1) 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(実務経験者) 担当教員名	科目名	単位数	旧		新				学部等 共通		専門		配当年次	概要(実務経験)
			バイオサイエンス学科	アニマルサイエンス学科	フロンティアサイエンス学科	フロンティアサイエンス学科 <small>臨床検査学カリキュラム</small>	メディカルサイエンス学科	アニマルサイエンス学科(*)	旧	新	旧	新		
向井 秀仁	エッセンシャル生化学Ⅰ 【エッセンシャル化学Ⅰ】 【タンパク質科学】	2 [2] [2]	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・前期 【1年・後期】 【2年・前期】	講義を担当する向井は、企業研究所および非営利団体・基礎研究所での研究および運営経験を持つが、その経験を生かし、基礎研究と応用・開発研究をつなぐトランスレーショナル研究の重要性について、経験を交えて最先端の研究領域の研究内容についても解説する。
向井 秀仁	サイエンスイノベーション入門	2			2	2	2	2		○			1年・前期	企業に就業した経験を持つ教員がサイエンスイノベーションについて詳細に解説すると共に、各最先端技術を理解し使いこなすためには、どのような科目を選択し、何を勉強しなければいけないのかについて教授する。
坂井 伸彰	大学での学びと実践方法Ⅰ 【大学での学びと実践方法】	2 [2]	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・前期	企業に就業した経験のある教員の指導のもと、自ら調査する力、情報源を見分ける力、情報を整理する力がどのようなものを体験学習を通して学び、大学で自発的に学ぶ力を身につける第一歩とする。また、卒業後の姿をイメージし、目標を持った学生生活を送ってもらうためさまざまな分野に進出した先輩たちから直接話を聴く機会を設けている。
小森 敏明	医学概論	2	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・後期	医師経験・臨床検査経験のある教員が、各専門性を活かして、疾患に関連する科目(組織・解剖学、生理学、免疫学、病理学、検査学、診断学、治療学)を縦断的・網羅的に解説する。
向井 秀仁	エッセンシャル化学Ⅰ	2	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・後期	講義を担当する教員のうち向井は、企業研究所および非営利団体・基礎研究所での研究および運営経験を持つが、その経験を生かし、基礎研究と応用・開発研究をつなぐトランスレーショナル研究の重要性について、経験を交えて最先端の研究領域の研究内容についても解説する。
永井 信夫	実験動物学	2	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・後期	実験動物の飼育管理の経験者による飼育管理、繁殖や施設管理の実践的な知見・技術を講義で説明する。
坂井 伸彰	大学での学びと実践方法Ⅱ 【社会の問題と解決方法】	2 [2]	2	2	2	2	2	2	○	○			1年・後期 【2年・後期】	企業に就業した経験のある教員の指導のもと、科学技術の進歩や国際化の進展等にもなっている問題について、収集した論文情報や新聞情報等から何が課題かを整理し、解決策を構想する力を身につけていく。さらには、導き出した解決策やそこに至る道筋を、相手にわかるように論理的にまとめ、表現する力の獲得を目指す。
大森 義裕	遺伝学概論	2	2	2	2	2	2	2	○	○			2年・前期	アカデミックな研究機関及び製薬企業においてゲノム研究実績のある教員が、コニバーサルな遺伝学の概念と最新のゲノム科学の知見を交えながら講義をすすめる。
永田 宏	医用データベース技術Ⅰ 【データベース技術Ⅰ】	1 [2]	2	2	1	1	1	1	○	○			2年・前期	企業に就業した経験を活かし、MySQLを使ってSQLの基礎とDBMLの基本操作を教授する。
永田 宏	医療のための情報工学概論Ⅰ 【情報工学概論Ⅰ】	2 [2]	2	2	2		2	2			○	○	2年・前期	企業に就業した経験を活かし、医療情報学分野および生物情報学分野における基礎として欠かせないコンピュータの専門知識を教授する。具体的には、コンピュータの基礎と理論、入出力装置とCPUなどについて学ぶ。
向井 秀仁	医薬分子機能学 【医薬分子機能学】 【医薬品化学】	2 [2] [2]	2	2	2	2	2	2		○	○		2年・後期 【医薬分子機能学(旧)は 3年・後期】	講義を担当する向井は、企業研究所および非営利団体・基礎研究所での研究および運営経験を持つが、その経験を生かし、基礎研究と応用・開発研究をつなぐトランスレーショナル研究の重要性について、経験を交えて最先端の研究領域の研究内容についても解説する。
永田 宏	医用データベース技術Ⅱ 【データベース技術Ⅱ】	1 [2]	2	2	1		1	1			○	○	2年・後期	企業に就業した経験を活かし、MySQLとPHPを組み合わせて、簡単なWeb-DBシステムの開発手法を教授する。
小森 敏明	医療安全管理学演習	1.5				1.5					○	○	2年・後期	臨床経験(臨床検査技師)のある教員が各専門性を活かして採血・医療安全・検体採取についての講義と演習を行う。
永田 宏	医療のための情報工学概論Ⅱ 【情報工学概論Ⅱ】	2 [2]	2	2	2		2	2			○	○	2年・後期	企業に就業した経験を活かし、医療情報学分野および生物情報学分野における基礎として欠かせないコンピュータの専門知識を教授する。具体的には、データベース、通信ネットワークシステム、情報セキュリティ、情報システムの信頼性、システム開発の技法などについて学習する。
向井 秀仁	M専門実験ⅠB(創薬科学系) 【BS専門実験ⅠA(創薬・機能系)】	3 [2]	2					3			○	○	3年・前期	本実験を担当する教員のうち向井は、企業研究所および非営利団体・基礎研究所での研究および運営経験を持つが、その経験を生かし、基礎研究と応用・開発研究をつなぐトランスレーショナル研究の重要性について、経験を交えて最先端の研究領域の研究内容について、実験講義等の機会を通して解説する。
坂井 伸彰	社会との関わりとキャリアパス	2	2	2	2	2	2	2	○	○			3年・前期	民間企業での職務経験および大学でのキャリア支援の実務経験を踏まえ、社会から「大学時代の経験や学び」がどのように期待されているのか?、「大学時代の経験や学び」がどのように社会に活かせるのか?、これらの問いに対し、履修者の皆さんが何かしらのヒントを得られるような授業運営を目指します。
伊藤 正恵	病原ウイルス学 【ウイルス学】	2 [2]	2	2	2	2	2	2		○	○		3年・前期	厚生労働省の感染症発生動向調査において病原体(ウイルス)分析に従事した経験を持つ教員が、ウイルス学の基礎を解説し、最新のウイルス工学について紹介する。
永田 宏	医療情報学概論	2	2	2	2	2	2	2	○	○			3年・後期	企業に就業した経験を活かし、医療情報システムの種類・機能・構成について、医療制度・病院経営・患者サービスなどの観点から多角的に教授していく。
山本 哲志	臨床生理学	4				4					○	○	3年・通年	臨床経験のある教員(臨床検査技師)が各専門性を活かして、各生理学検査(超音波・呼吸器機能・神経機能・循環機能・感覚機能)に関連する疾患と検査について、組織・解剖学・生理学・病理学・生化学を踏まえて網羅的に解説する。
山本 哲志	臨床生理学実習	4.5				4.5					○	○	3年・通年	臨床経験(臨床検査技師)のある教員が各専門性を活かして、各生理学検査(超音波・呼吸器機能・神経機能・循環機能・感覚機能)について、関連する疾患の病態・病理・臨床化学検査等を含めて網羅的に解説、実習指導する。
合計単位数			32.0	30.0	30.0	35.0	33.0	30.0						

(備考) 2019年度より学部再編で、フロンティアバイオサイエンス学科、アニマルバイオサイエンス学科(*)、メディカルバイオサイエンス学科の3学科編成になる。